

## M for M 設立趣意書

### 1. 趣意

M for M は、防音室を病院へ寄付する団体です。「メモリアル・スペラ」チャリティコンサートを開催してその収益を病院への防音室寄付にします。防音室を病院へ寄付することは、21歳で夭折のチェリスト山本栞路の生前の願いでもあり、その遺志を彼の恩師や仲間、両親が引継ぎました。

病院に防音室を設置する理由は、入院患者や医療従事者の心身の健康のためです。山本栞路は、年間300日以上入院を通して音のない世界を長期間経験しました。他の患者への気遣いや病室の規則により、日常的に出す声の音量を落とし、また日常生活に比べて早い就寝時間になると会話は基本的に難しくなります。楽器演奏はもちろん禁止です。

病院の生活は彼の心を塞ぎました。白血病を突然宣告された彼は、右耳の突発性難聴にもなり、左耳も聞こえなくなる恐れから、ヘッドフォンも極力使わないようにしていました。そのことがストレスを増やしました。入院患者が退院に向けて身体のリハビリを行うように、心のリハビリにつながる音のある世界を体験できたらと願っていました。

病院内に防音室を設置することにより、入院患者は声を取り戻し、音を身体いっぱいに感じることができます。病院内に長時間勤務する医療従事者も心身のストレスはとても大きいと聞いております。ストレス発散の場所があることによって医療従事者の心身の健康が保たれることは入院患者にとってもプラスに働きます。

病院内の防音室は、一般的に検査や治療のために設置されていますが入院患者の心のリハビリ用ではありません。心のリハビリは、病院の新たなサービスケアの一つと考えます。

入院患者が社会復帰に向けて身体のリハビリ訓練があるように心のリハビリができる施設も必要と考え、「防音室を病院へ寄付する団体」M for M 設立に至りました。

### 2. 「防音室を病院へ寄付する団体」M for M 構成

代表 総務 経理 経理補佐 広報 団員 発起人

### 3. 計画

3. 1. 2024年4月30日(火) サントリーホール ブルーローズにて演奏会の開催：  
「チェリスト 山本栞路を偲ぶ 一年祭メモリアル・スペラ チャリティコンサート」
3. 2. 公式サイト作成
3. 3. 賛同者募集
3. 4. 協賛募集
3. 5. 寄付の依頼
3. 6. M for M の団体の法人化